

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	資源ごみリサイクル事業			
■評価事業コード	030300 - 066	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	03 リサイクルの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律			
■関連計画の名称	北上市環境基本計画、北上市ゴミ処理基本計画			
■事業の概要	住民のリサイクル意識の高揚。可燃・不燃ごみの減量。職員による委託業者との連絡調整、収集の広報、分別の啓発。委託業者は、資源ごみステーションを収集車で巡回し、種別ごとに収集する。収集したごみは委託している民間の中間処理施設へ運搬する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	資源ごみ収集運搬	市民		資源ごみステーション数384箇所 資源ごみ量:4263t
02	資源ゴミ加工保管	市民		加工保管量:4263.28t
03	資源ゴミ再商品化	市民		再商品化量:1,621t(市独自処理338t、 容リ協会1,283t)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	100,067	99,532	101,034	100,546	
人件費	2,223	2,372	3,731	4,013	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	102,290	101,904	104,765	104,559	

4. 評価指標等の状況

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	リサイクル率	0.247	0.235	0.235	0.227	ごみ総量に対する資源ごみの量
02	資源ごみの量	4,411t	4,008t	4,437	4,263	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

ごみ総量および1人1日あたりのごみ排出量は平成23年度に比べて減少しているが、資源ごみ自体の量も減少しているため、相対的にリサイクル率が低下した。

### 問題点・課題等

分別がしっかりとされず、可燃ごみの中に資源ごみが含まれたまま排出される傾向が、依然としてみられる。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

### 補足説明

分別の周知を徹底し、資源ごみリサイクル率の増加を目指す。